

の實際に對し基礎を作るものである。

(五) 六色は幼兒の繋ぎたるものにより、室内を裝飾し、プリズムを以て光線を分解し、これと對照し、幼兒自ら其基礎を知り、原色と補色とを知り、自在に之れを配合して圖畫と云はず、自身の衣服其他の基礎となり、又自然を了解するを得る。

以上は極めて簡單に述べたるもの、而して遊び方の指導についても、之れを實際になす時は、極めて簡單のものであつて、實際に遊ぶ方が即自由生活の方が多いことを豫め考へてかゝらねばならぬ。唯之れが基礎となるべき指導をなす時は、摸倣でなく、命令と相談とによりて幼兒の考へを通じて爲さしむる即ち聽官により彼等の頭腦を通じて爲さしむる點に重きを置きたい。目から形を入れて、單に摸倣せしむる事は、幼兒を活かす方法でない。従つて此摸倣にのみ依らしめる時は、自由なる創作的の遊び方に至つて、大なる齟齬を來すものである事を忘れてはならぬ。

## ○ 會 告

會費御拂込みの節に一圓二圓といふやうに端數のない額で御拂込みになる向きが御座います。右は會計部の方で帳簿整理上少々都合がわるいさうで御座います。本誌の定價は表紙の三に明記して御座いますからあの規定の額に過不足なく御拂込みが願ひたいと存じます。例へば六冊前金九十錢に對して一圓御拂込みになると餘分の十錢を御返送するか前金切の場合にその次ぎの御拂込みに加へて計算するかしなければなりません。が孰れにしても少々手數で御座いますから、なるべく卷末の定價表通りの額を御拂込み下さるやうに願ひ致します。